

# 浜松歯科衛生士専門学校 学校だより

令和5年度も残り2ヶ月になりました。心配していた新型コロナウイルス感染症も5月には「5類感染症」になり学校生活も以前のように戻つつあります。歯科衛生士教育に関しては、『国家試験出題基準』が変わり、『歯科衛生学教育コア・カリキュラム-教育内容ガイドライン-』が改訂され、今年度よりすべての教科書が歯科衛生学シリーズとして発行され、一部内容も変わりはじめています。歯科衛生士国家試験も深く理解をしていないと解けない問題が増えてきました。進化する教育に対応できるよう本校も進歩していきたいと思っています。今回の学校だよりでは3学年それぞれの学生に、1年を振り返ってもらいました。



## 友と乗り越える 2年 鈴木里那

令和5年10月5日に宣誓式を行い、私たち40期生は臨床実習に向けてそれぞれの決意を誓いました。

医療人として確かな技術と知識を患者様に提供することはとても大切な事です。臨床実習の中で自分が発揮できる能力を最大限に引き出し実践し、養うだけでなく豊かな人間性と人間愛に満ちた奉仕と強調の精神をもって実習にあたりたいです。

点火の儀においては、全員で誓いの言葉を言い42名それぞれの気持ちがひとつに重なったと感じられました。誇りと希望をもって業をささげられる歯科衛生士になることを目指していきたいです。

そして困ったとき、悩んだとき、くじけそうになった時、ひとりでは乗り越えられないことも42名で乗り越えていけるよう励ましあい、お互いを高めあいながら日々成長していきたいです。



## 目標に向かって 1年 村井彩音

入学して約10ヶ月が経ち、いろいろな新しい経験をしました。

新しい学校に入り、今まで知らなかった歯科に関する勉強が始まったこと、歯科衛生士になるという同じ目標を持った仲間と毎日勉強、実習に取り組むこと、歯科医院へ実習に行くことなど、これまでの生活とは全然違った新しい学生生活が始まりました。新しい仲間ができ、充実した日々が送れていた反面、新しい環境に慣れるまでは時間がかかりました。私はもともと体力に自信がありましたが、夏からの3ヶ月間に3つの感染症にかかってしまいました。そのため学校を休まなければならず不安になりました。しかし、周りの友達や先生方が支えていただき、諦めずに学校に通い続けることができました。2年生になると、新しい科目の勉強や実習、本格的に臨床実習が始まります。自分の目標に向かって周りの友達と支え合って頑張っていきたいと思います。



## 感謝を胸に 3年 飯嶋海南

もうすぐ私にとってかけがえのない3年間で終わろうとしています。

1年前、私の浅はかな行動で実習先や多くの方にご迷惑をかけてしまいました。それまでの私は、夢もわからず、日々の勉強に意味も見出せず、ただなんとなく学校に行くという生活を送っていました。しかしその一件から、先生方をはじめ、実習先の歯科医院の方々、家族、そして友達が私のことを応援し、協力してくれているのだと痛いほど知ることができました。

それからの1年間は、私は将来どうしていきたいのかを考えながら、先生や家族、友達に恩返しするつもりで日々勉学に励みました。歯科衛生士という職業に向き合った際、尊敬できる歯科医師、歯科衛生士の方に出会うことができました。このような素晴らしい環境のもとで働きたいという夢ができました。あの時、私を見捨てないでくださった先生方、家族、友達にとっても感謝しています。

国家試験まで残りわずか、夢であった歯科医院で働けるよう精一杯頑張ります。

